

大阪・関西万博きょうとアクションプランにおける  
「フラッグシップ・アクション」（たたき台）

- ・ 京都駅エリアまるごとゲートウェイ
- ・ きょうとまるごとお茶の博覧会 2025
- ・ 和食と世界の食サミット
- ・ KYOTO 地球環境の殿堂 国際会議・未来会議
- ・ スタートアップイベント
- ・ 京都の川巡り
- ・ けいはんな万博 2025
- ・ Music Fusion Kyoto 国際音楽祭（仮称）
- ・ 京都府立植物園メディアアートプロジェクト（仮称）
- ・ 京都国際マンガ・アニメフェア
- ・ “ほんまもん” を伝える「食の京都」レストランスペシャル

## 京都駅エリア まるごとゲートウェイ

想定エリア：東＝京都市立芸大や鴨川・高瀬川  
西＝梅小路京都西駅～丹波口駅  
南＝京都駅南口エリア  
北＝東本願寺前市民緑地

- 京都駅エリアを文化と芸術があふれるまちにするため、**府内の芸術系大学の学生や若手芸術家の現代アート作品を万博期間中、常設展示**
- 京都駅や京都市立芸術大学を中心に、エリア内で、音楽やアートのライブパフォーマンス、インスタレーション、アーティストのトークセッションなどで構成される「街中芸術祭」を秋頃に1～2週間開催
- お寺やホテル、美術館・博物館などの施設と連携し、「生け花」「書」「食」「現代アート」などをテーマごとに体験できる周遊ゾーンを駅周辺を起点に造成。

想定時期：GW明けから祇園祭開幕までの間、テーマごとに期間を区切って開催

- 梅小路公園では、夕方から始まるナイトマーケットやお祭り縁日、タイや台湾などアジア各国の屋台が並ぶ夜市などを万博期間中定期的に開催
- さらに府内の万博関連情報が入手できる拠点を、京都駅をはじめ、駅周辺の関連施設に設置し、府南部・北部へ誘客

### <実行メンバー案>

京都府・京都市・府内の芸術系大学・JR西日本株式会社・京都駅ビル開発株式会社など



## きょうとまるごとお茶の博覧会 2025

- 京都のお茶の文化を支える茶人や茶商、茶の生産者から、茶器や茶道具の作家や菓子職人までが一緒になって、京都を訪れるお客様をもてなす「万博大茶会」を秋に開催

想定会場：京都市内は、北野天満宮、二条城、京都岡崎エリア、京都国立博物館など  
京都市外は、茶づな、天橋立、舞鶴赤レンガ倉庫など

**特徴：府内の大学生、高校生、若者も参加しておもてなしを実施**

- 万博会期中は、通常一般公開されていない茶室から、老舗茶問屋や茶舗などが経営する抹茶カフェやティーサロンなどで、月釜や茶会を誰でも気軽に参加できるように実施

想定会場：松花堂庭園、アサヒグループ大山崎山荘美術館、一休寺などの寺社仏閣や美術館・博物館などの文化施設で開催

- 府内各地の茶の美術館・博物館に呼びかけ、「京の茶道・茶業・茶文化」をテーマにした企画展を連携実施

### <実行メンバー案>

京都府・京都市・茶道各流派・茶業関係団体・府内大学など



## 和食と世界の食サミット

「京都・和食の祭典」を「京都・食の祭典 International」として、万博期間を通じて開催

- 世界の料理（中華・フランス・イタリア・スペイン等）と和食の料理人がペアになり、一組一品ずつ京都の食材を使った創作料理を担当し、コース料理として提供するガラディナーを府内のホテルで5～6月頃に開催
- ガラディナーと合わせて、料理人によるトークショーを開催
- 7月以降は、世界の料理×地域の食のコンペティション、海外料理人フェロシップ、公式参加国関係者向け試食会などを開催し、多彩な国際交流を実施
- 各時期の旬の食材と地域を掛け合わせた「食の京都」フェアを実施。京都にある万博参加国の料理店にも参加を要請

### <実行メンバー案>

京都府・京都市・料理関係団体等・酒造関係団体・府内のホテルなど



## KYOTO 地球環境の殿堂 国際会議・未来会議

- 2050年カーボンニュートラル実現に向けた課題について、「気候変動」、「生物多様性」等の分野ごとに議論する「KYOTO 地球環境の殿堂・国際会議」について 万博を機にスペシャルバージョンとして9月に国立京都国際会館で実施

特徴：過去の 殿堂入り者（36名・1団体）等が参加して実施

- 先行イベントとして、国内外の高校生等による「KYOTO 地球環境の殿堂・未来会議」を春から夏頃に開催

想定テーマ：京都 1200年の歴史の中で守り、共存してきた 自然環境が、文学や芸能、芸術、伝統産業等の京都文化に深く影響を及ぼしていることへの理解、自然環境保全の重要性

実施内容：例えば、希少な鳥類や500種以上の植物等が生息する 京都御所の自然観察や「アカマツ再生プロジェクト」の視察などを含むワークショップを通じて 未来への提言をまとめる。

- 「未来への提言」は、KYOTO 地球環境の殿堂・国際会議の成果文書に反映させる。

### <実行メンバー案>

京都府・京都市・府内の大学、高校・環境団体



## スタートアップイベント

- 世界からスタートアップ企業や投資家等呼び込むため、「IVS」等の国際的な大型スタートアップイベントの商談会やピッチ、講演会、やセッション等のイベントをスタートアップ・エコシステム「グローバル拠点都市」である大阪や神戸と連携し、万博開催期間中、規模を拡大して実施。



## 京都の川巡り

- 淀川舟運の復活を契機に、淀川沿川の自治体が連携し、船頭が川と地域との関わりを話す特別クルーズや、川にちなんだ食のマルシェ、沿川の観光スポット巡りなどからなる「淀川舟運フェスティバル」を5月頃に開催。

想定会場：京都市伏見区、宇治市、八幡市、久御山町 など

- 筏流しの復活（保津川）を始めとした、「京都の川」の周辺で育まれてきた京都の文化や産業の歴史の奥深さを学び、体験できるイベントを開催し、周遊できる観光コースを造成

想定河川等：鴨川、宇治川、桂川、保津川、琵琶湖疏水、高瀬川など

### <実行メンバー案>

京都府・京都市・沿川自治体・沿川鉄道事業者など





## けいはんな万博2025

- けいはんな学研都市の「今」を紹介し、「未来」を提案する 4つのテーマのフェスティバルを万博期間を通じて開催

「ロボット・アバター・ICT」：ロボット大運動会やアバターチャレンジの開催など

「ウェルビーイング」：フードテックエキスポやマルシェの開催など

「スタートアップ」：スタートアップコンGRESの開催など

「サイエンス&アート」：科学と芸術の融合したフェスティバル

- 世界の碩学、賢人が、健康で平和で豊かな「未来」の実現に向けてメッセージを発信する 国際会議（賢人会議）を開催。
- 研究開発力の発信、交流促進、オープンイノベーション拠点の機能強化を図るため、オープンラボ/テックツアーを展開
- 様々な分野、立場の人々が交流し、科学と文化や芸術の融合により新たな価値を生み出す場となる コモンズを創出





## Music Fusion Kyoto 国際音楽祭（仮称）

- 万博会中に、プロやアマの音楽家をはじめ、音楽家を夢見る子供や若者が世界中から集まり、交流し、新しい音楽を創造・発信する「Music Fusion Kyoto 国際音楽祭（仮称）」を開催。府民が音楽に親しむ機会を創出するとともに、音楽家の街・京都の発信、新たな音楽の創造と発信を行う。

想定会場：京都市他、京都府内各地

## 京都府立植物園メディアアートプロジェクト（仮称）

- 植物園とメディアアートを掛け合わせた、京都の新たな夜の文化観光コンテンツを世界に発信するため、京都府立植物園で、最新テクノロジーを活用したメディアアートのインスタレーションを実施。
- メディアアート作品を通じて子ども達にも分かりやすい形で、植物や生物多様性への興味・関心の向上も図る。

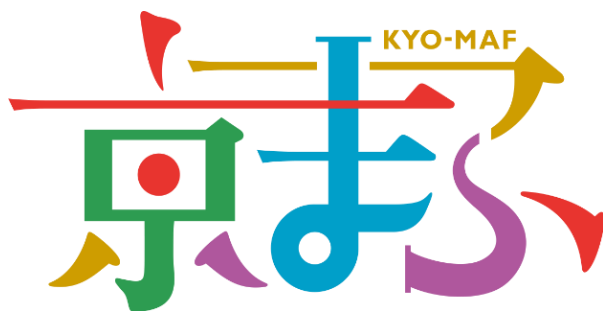


## 京都国際マンガ・アニメフェア

- 西日本最大規模のマンガ・アニメの総合見本市「京都国際マンガ・アニメフェア」を万博期間中に実施。
- 京都市内企業等と連携した伝統産業とマンガ・アニメ・ゲームなどのメディア芸術とのコラボ商品の開発・販売等による観光客誘客やビジネスマッチングの増加を図る。

想定会場：みやこめっせ、ロームシアター京都ほか京都市内各地

実施時期：9月を中心に年間を通じ実施



## “ほんまもん”を伝える「食の京都」レストランスペシャル

- 「ほんまもんの京都料理」を味わってもらえる、食の魅力あふれる京都を目指し、以下の取組を推進する。
  - ・ 京都レストランスペシャルの開催（京都産食材を使用した特別メニューの提供等）
  - ・ 食の関係団体と連携した事業の開催
- 取組にあたっては、宗教や文化の多様性に配慮した食事への対応を行う。
- 万博後は「ほんまもんの京都の料理」の魅力を発信し、「食の京都」をさらに推進していく。

